

# 計画の理念と目標

本県では、これまで人間尊重、生活優先を基本理念として県政を進めてきましたが、今後ともこの理念を基本にこれまでの県勢の発展をふまえ、更に、一層の飛躍と我が熊本の素晴らしさを伸ばすことを目指し各般の施策を推進します。

交通施設をはじめとして、更に各種の施設整備を進めるとともに、新しい時代にふさわしい豊かな生活の実現に向け、きめ細かな施策を進めてまいります。

県民が均しく健康で豊かな生活を享受できる社会、毎日の活動が本県の優れた自然と調和し、人間相互の信頼と連帯感に満ちた温かみのある社会、県民の誰もが自主的に豊かな生活設計がたてられる活力と希望に満ちた社会を県民の皆様方と力をあわせて実現していきたいと考えています。

以上のような基本的認識に立って、各種の施策を総合的に進める必要がありますが、特に、次のような事項を常に発想の源泉としながら、各般の施策を重点的に推進いたします。

## ●熊本にしかできない 新しい豊かな暮らしの実現

本県の「豊かさ」を県民所得など経済的な指標で表わすと近年著しく上昇していますが、産業構造、地形的、地理的条件からこれ以上、上昇し全国の最上位になることは難しいと考えられます。しかし本県には、澄んだ空気とうまい水、緑の山々、そして県民の温かい人情に支えられた心ふれあう地域社会があります。

また、新鮮でおいしい食物がとれ、文化遺産も多く多彩な観光資源や野外活動の場にも恵まれています。

現在人々の求めるものは、生活のゆとりであり、生きがいであるといわれます。そのようなものを尺度にしたとき、本県の「豊かさ」は、経済的な諸指標で示

されるものより上位に位置づけられるものと考えられます。

今後、本県の自然の豊かさ、心の豊かさ、暮らしの豊かさを更に高めるために、自然環境の保全、コミュニティづくりと文化、体育、教育等の施設の整備、伝統文化の保存育成、品質のよい農林水産物の生産などに努め、県民すべてが、熊本に住むことの喜びを感じられるような他の地域ではまねのできない新しい豊かな暮らしの実現を目指さなければなりません。

## ●地域の均衡ある振興と定住の実現

県内の各地域は、それぞれ自然条件、産業構造などが異なっており、現在、所得水準や各種の施設整備の面で、かなりの差があります。これを県内すべての地域で全く同じにすることは不可能ですが、県内どの地域においても、県民が充実した豊かな生活を享受できるような総合的な居住環境の整備をはかる必要があります。

このため、雇用の場の確保と基本的な生活環境施設、身近な文化、体育施設等の整備をはかり、人口と産業の適正配置を進め、県全体として均衡のとれた定住の実現をはからなければなりません。

## ●九州における拠点性の拡充

本県は、水、土地など地域の開発に必要な基礎的條件については、まだまだ余裕があり、また、高速交通体系の整備が進むのに伴い、地理的に九州の中心に位置することの長所が改めて生かされるものと考えられます。

現在でも、熊本市を中心とした地域には、全九州を統轄する官公庁などがありますが、今後、九州の中心都市にふさわしい地域づくりをすすめる、行政、文化、教育等の機能について、九州の中心としての役割を分担するとともに、流通、観光等の面においても九州の中の大きな拠点としての役割を発揮するための施策を積極的に推進する必要があります。

## ●新しい国民の需要への対応、 新しい分野での開発

いつの時代でも、時代をリードするのは新しい時代の流れをいち早くつかみ新しい分野へ乗り出した者です。1980年代は、社会経済の動きがますます激しくなると思われ、また、国民の価値観が多様化すると考えられるので、一層のこと時代を先取りした振興をはかる必要があります。

産業振興、観光開発、エネルギー問題への対応など新しい時代の課題に適切に対処するとともに、日頃から敏速に対応できる体制を築いておかなければなりません。

## ●郷土を支える基礎としての 一人ひとりの能力の開発

県勢発展の基礎となるものは一人ひとりの県民です。快適な郷土づくりはもちろん、福祉の充実、産業の振興を支えるのも、豊かな人間性を備え、創造性と向上への意欲にあふれた県民一人ひとりの力です。

本県は、これまでも多くの賢人を輩出してきており、教育県といわれてきました。

かつて本県教育が誇りとしたものも手本としながら、郷土愛に満ち、社会に貢献できる人づくりを積極的に進めなければなりません。

## ●国際化時代に対応した施策の展開

国際化は、今後、さまざまな分野においてますます進行することが予想されます。今までのような経済面の交流にとどまらず、文化等の交流もますます盛んになるものと思われます。更に、国と国との交流だけでなく、地方と地方との交流も必要になってきています。

本県は、海外へ進出した県民も多く、中国、東南アジア諸国とも近いといった条件を有しており、農業を中心とした技術援助など、本県として果たすべき国際的な役割が重要となっています。今後、国際交流の一大拠点となるよう国際的な交通網及び必要な施設の整備を進めるとともに、多面的な交流の強化をはかっていかなければなりません。